



令和6年5月1日  
目黒区立ひもんや保育園園長

朝8時半を過ぎると園庭で遊ぶ子どもたちの声が響き始めます。ある日、一人の子が遠くを見つめて座り込みいつものような元気がありません。担任に事情を聞くと、園庭に落ちていた桜の花びらを拾っては花吹雪を楽しんでいたところ、後から園庭に出てきた職員にも花吹雪をかけてあげようとしたのですが花びらに紛れて砂もかかってしまったのだそうです。その子は「こんな風になると思わなかった…」と呟いたそうです。きっと綺麗な花吹雪を見せたかったのでしょう。予想もしない出来事に胸を痛めている姿を見てなんとも切なくなるのと同時に、こんなにも感情が育っているのだということに感動しました。担任も子どもの気持ちを察し、ぎゅっと抱きしめている姿に心が温かくなりました。

ビオトープにはオタマジャクシがいます。数人で見ている時に4歳児の子が「お・た・ま・じゃ・く・し」と指を広げ「これ（6文字）だね」と言うと、それを聞いた3歳児の子が「め・だ・か・あ」と言うてにこりと微笑んでいました。生き物に触れながらも、言葉や数字など様々なことに気づいて楽しんでいるのだと思いました。

子どもたちは様々な体験を通し、時には失敗したりしながらも挑戦や試行錯誤を重ね、興味や関心を深め学びへと繋げています。ひとり一人の子どもたちの興味や関心を一緒に探求し、楽しんでいきたいと思います。



### 5月、6月の行事予定

- 春の遠足（4・5歳児クラス）
- 春の健診（全園児）
- おまつりごっこ（全園児）

中旬 避難訓練、身体計測

### 懇談会予定

各クラス懇談会

## ～ビオトープ紹介～

どんな園庭にしたいか職員で話し合い、“築山、ビオトープ、虫の集まるむしむしハウス、鳥小屋”など意見が出てプロジェクトを立ち上げました。花壇を改造して作ったビオトープをご紹介します。



オタマジャクシとザリガニが住んでいます。



職員が作った鳥小屋です。どんな鳥が遊びに来てくれるかはお楽しみです。

プランターでいちごを育てています。



### ちゅういっぶ組(2歳児)

すずめのお宿の竹藪に小さな筍が顔を出しているのを見つくと“何だろう?”と興味津々で近づいてツツンと触ってみる子もいます。柵の向こう側にも同じような筍が見えると「あったー」「いた」と嬉しそうに教えてくれています。先日は管理の方から小さな筍をいただき、大事そうに園に持ち帰ってきました。これからも季節の自然物に触れ合える機会を沢山作っていきたいと思います。



### たんぽぽ組(3歳児)

散歩の道中「タンポポ見つけた」と言う声が聞こえてきました。「たんぽぽ組のタンポポだね」と保育士が声を掛けると、しばらく考えて「タンポポ組のタンポポ。一緒だね」と嬉しそうです。その後もタンポポを見つけては「あ、タンポポ」と立ち止まって「こんにちは。タンポポ組の〇〇です」とご挨拶しています。子どもたちの発見や気づきを大切に楽しんでいきたいです。



## ひもんやの春み~つけた



### こすもす組(4歳児)

碑文谷公園に行くと桜の花を見上げて「きれい」と見えています。段々と葉桜になってきていたので「こっちの方がピンクだね」と色を比べながら嬉しそうに木に駆け寄っていました。足元を見ると綿毛を発見し「ふわふわ」と触ったり、フーッと息を吹きかけて綿毛を飛ばしたりしていました。目で見て、触れてたくさんの春を感じることができました。これからも子どもたちの「見つけた」を一緒に喜んでいきたいです。



### ひまわり組(5歳児)

裏庭へ雑草や草花を摘みに行っています。「この葉っぱお茶に良いかも」「キャベツの匂いがする、野菜炒め作ろう」と、ワクワクしながらレシピを考えています。園庭に戻ると、早速葉っぱを細かく切って、野菜炒めやねぎの味噌汁を作っていました。刻んだ葉っぱを水の中で擦り合わせて緑茶も完成です。砂のケーキにも花や葉でデコレーションするなど、アイディア満載の御馳走がたくさん出来上がりました。子どもたちが発見した自然を一緒に楽しんでいきます。

